

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 池田高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年1月28日(水) 13:30~15:30
- 3 開催場所 池田高等学校 視聴覚室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	小林 月子	サンビレッジ国際医療福祉専門学校顧問
副 会 長	西川 昭	地域商工会議等代表
委 員	高橋 利行	池田町教育長
	岡田 勝彦	神戸町教育長
	河村 茂雄	池田町立池田中学校長
	井上 誠	神戸町立神戸中学校長
	國枝 正義	池田町上田区長(欠席)
	高橋あゆみ	神戸町立北小学校読み聞かせボランティア
	安田 正博	垂井町青少年県指導員(欠席)
	香田 英一	本校育友会長
学 校 側	鈴木 彰	校長
	武藤 真理	教頭
	田村由美佳	事務長
	吉田 一臣	教務主任
	三輪 智子	生徒指導主事
	古山 克幸	進路指導主事

5 会議の概要(協議事項)

○「令和7年度 自己評価・学校関係者評価」について

意見1： 毎年、「今年はこのようにことに挑戦した」「新たな取組を開始した」と報告しており、常に挑戦を続けていることが確認できる。これらの取組は他校との差別化にもつながっており、大変優れた点であると評価する。

また、学校には一定の限界もあるが、そのような取組に対して外部機関との協力を適切に活用し、教職員が全体を調整していることが学校活性化に寄与している。

意見2： 学校における様々な活動を効果的に発信している点も重要である。さまざまな活動もホームページもタイムリーに更新されている。これにより、「池田高校は魅力的である」「進学先として選びたい」と感じる者も増えると推測される。

- 意見3： 本校ならではの探究活動が、生徒の地域理解および課題意識の醸成に寄与している。これらは、探究活動がなければ生徒には自然に芽生えにくい視点であり、大変意義深い。
- 意見4： 本日、本校での取組を見学したところ、チームによる学びや自己実現につながる活動が多数見られた。これらの活動は、すべてが外向きの発信を意識したものであり、生徒が自己理解を深めながら自分の将来像を描くことにつながり、またその中で、自分を客観的に捉える視点が伺えた。活動の広がり、自己実現や欠席者支援の取り組みとも一つの流れの中で結びついているのではないかと。
- 意見5： 本校が探究学習に大変熱心に取り組んでおり、どうしてそれがうまくいっているのかと考えると、それが高校卒業後の進路と結びつき、学校としてのアウトプットにつながっている点大きい。地域や学習環境を持続可能にするためには、最終的に循環して回る仕組みを作ることが重要である。その観点からも、本校の取組は、学校としてのアウトプットに確かに結びつき始めていると評価できる。
- 意見6： 生徒の発表は、1年生らしい発想やアイデア、思いつきが多く見られた。発表の度に、参観していた教員から様々な問いかけがあり、深掘りする方向へ導く姿勢が伺えた。これらの追求は、1年生にはやや難しい論点であると感じる一方、まずは自由にアイデアを出し、それを徐々に深めていく流れが重要である。
育てたい生徒像「リーダー」について、リーダーには、組織を牽引するタイプのリーダーもいれば、他者を支援する側のリーダーも存在する。必ずしもトップに立つことだけがリーダーではないという視点が必要ではないか。
- 意見7： ここ数年にわたり、学校と地域、企業との連携が着実に深まっていると強く感じた。本日の発表もまさにその実践を示す内容であり、実際に体感することができた。全体として非常に良い流れが形成されていると評価できる。
- 意見8： 心のアンケートにおいて、不調を感じている生徒が一定数存在することが示されていた。校内外のイベントが多いことは、生徒にとって嬉しい側面がある一方で、逆にそのイベントを負担や「壁」として捉えてしまう生徒も一部にはいる。不調の背景となる要因は多様化しているため、生徒一人ひとりの状況に寄り添い、丁寧なケアを行うことが重要である。
- 意見9： 報告会で示されたいくつかの探究テーマの中に、地域の活性化や祭りに関する内容が多く見られた。ちょうど来年度令和8年4月に池田町で春祭りが開催される予定であるが、この行事に、生徒の皆さんにもぜひ参加してほしい。
- 意見10： 新カリキュラムの実施に向け、理数探究基礎の年間計画の整備とフィールドワーク推進を、職員がチームで進められる体制づくりを行うとのことであるが、理数科系は、どこを目標に持つかというのはさまざまなので、本校の目標はここだということをしきりとアピールして、それを達成できているか確認しながら進めていくべきだ。
- 意見11： 本校における探究活動とチームでの学びについて、特に強く印象を受けた。1年生はまだ初歩的な段階にある一方で、2年生は自ら課題を設定し、主体的に動かしながら探究を進めており、明らかな発達の段階差が確認できた。探究を通して自分の力で

課題に向き合う姿勢こそが、現代の高校生にとって極めて重要であると痛感した。この時代において、主体的に学び、課題解決を図る力を育成する探究活動は必要不可欠である。

○その他

意見12： 今年4月から自転車の走行ルールが変更される予定であり、車道を走ることになる。そのため、自転車に乗る際の注意だけでなく、歩行して登校する生徒に対しても「車道を走ってくる自転車の動きを意識すること」について指導を徹底してほしい。

意見13： 体育大会時にも気になった点であるが、生徒が足を滑らせながら歩いており、そのため、つまづく生徒も多いのではないかと推察している。走るスピードなどは、以前の生徒と比べてどうなのか気になっている。

6 会議のまとめ

今回は協議前に、委員による、1年生授業参観（総合的な探究の時間）、2年生代表者による探究成果発表の参観を行い、本校の探究的な学びの現状を実際に知っていただくことができた。委員の皆様からは本校が進めている教育活動やその方針について大いに理解・賛同を得た。活発な協議を通じていっそうの支援を得ることができたのは、大変心強くありがたいことである。今年度の成果を糧に、次年度の学校運営を推し進めていきたい。